

# サイバー脅威の対応準備に関するレポート2023

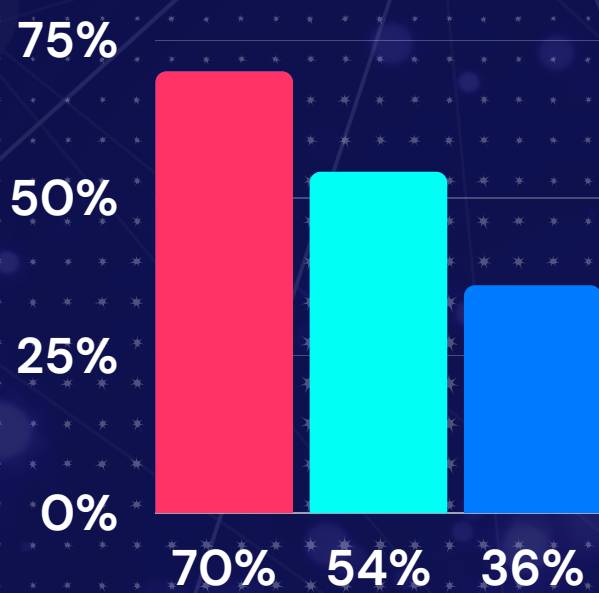
## 主な調査結果と誤解

### グローバルな調査の概要

スイムレーンは、主要な独立調査企業である Dimensional Research社と提携し、1,000人以上のセキュリティ専門家を対象にグローバルな調査を実施しました。サイバーセキュリティに対する認識、現在のトレンド、セキュリティオペレーション（SecOps）の効果的な手法について調査しました。



### トップダウンのセキュリティ格差

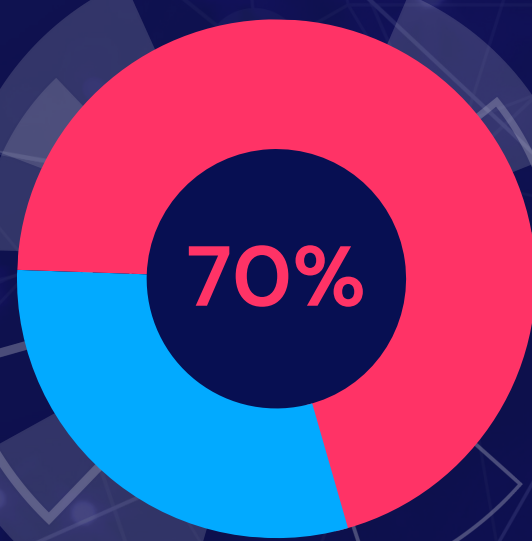


世界中の経営幹部のうち70%は、すべてのアラートが適切に処理されていると信じていますが、アラートに対処する現場の従業員の回答では36%にとどまっていると、鮮明な対照をなしています。

● 重役      ● 取締役 / 管理者      ● 一線の労働者

### 人材不足がリスクを増幅

82%の組織が、サイバーセキュリティの職種を埋めるのに3ヶ月以上かかると回答し、34%は7ヶ月以上かかると回答しています。さらに、70%の企業が、2年前よりもサイバーセキュリティの職種を埋めるのに時間がかかっていると回答しています。この課題のため、組織の3分の1（33%）は、適切なスキルを持つ完全なセキュリティチームを持つことは永遠に難しいと考えています。



### ローコードの威力

受信したすべてのアラートを効果的かつ効率的に処理するため、78%の組織が既にローコードのセキュリティ自動化を活用しています。調査対象のすべてのセキュリティ担当者のうち98%が、低コードのセキュリティ自動化ソリューションの利点を認識しています。

98%

78%